

移住者に聞く――

転職をきっかけに約1年前に横浜から移住してきた持田さんご夫婦。福島市内で勤務する謙介さんとパン講師をする弘恵さん。そんなお2人に川俣町の暮らしについてお聞きしました。

持田 弘恵 ひろえ さん（宮ノ脇）

持田 謙介 けんすけ さん（宮ノ脇）



川俣町は都会の便利さを補う良さを
たくさん持っていると思います

――川俣町に移住したきっかけは
なんですか？

引越してきたこの家の元住人の方と知り合いで、以前から年に一度川俣町に来ていました。シャモまつりに参加したり、農家さんとの交流もあり、引越す前から「このようなところに住んでみたい」という気持ちがありました。

――川俣町で1年過ごしてみての
感想をお聞かせください

まだ川俣町の観光地や名所など訪ねていない場所がありますが、住んでみると町中にも緑が多くて毎日癒されています。あと、空気が澄んでいて美味しいです。以前、町内を車で走っていると、窓から星空が見えて思わず車を停めて2人で見入ってしまいました。都会では絶対に見ることのできない景色が目の前に広がっていて、とても感動したことを覚えています。そしてなにより、地域の皆さんが優しく、ストレスフリーで代えがたい安心感を持った暮らしが出来ます。

――移住・定住をする際に大切な
ことは何だと思いますか？

大切なことは「移住した先で自分は何がしたいのか」をしっかりと考え、目的を持った上で移住することだと思います。私たちも今後、横浜に住んでいた頃から行っている、地産地消や食について考える「食育」を目的としたパン教室を開催したいと思っています。また、川俣町に引越してきて自分たちが感じた川俣町の良さをたくさんの人に知ってもらえるように一住民として少しでも川俣町を盛り上げたいと思っています。



自宅でパン作りをする様子

パン教室の看板



移住・定住をお考えの皆さんに 3 っのお知らせ

1 ワンストップ窓口の設置



場所：川俣町役場西分庁舎 1 階

開設日：9 月上旬開設（予定）

時間：午前 8 時 30 分

から午後 5 時 15 分

開設日：月曜から金曜

（土日祝日定休）

現在、開設準備中のため、**産業課商工交流係**（内線 1504）までお問い合わせください。

2 移住支援金



直近で県外に連続して 3 年以上お住いの方が川俣町に定住（5 年以上継続して居住）し、就職した場合に、

世帯で **200 万円**

単身で **120 万円**

が県から給付されます。

3 町独自の支援策



移住・定住された方へ、空家の改修**費用等の支援**について検討しています。さらに、トルコギキョウや川俣シャモの生産をされる方、自治会活動への参加等をされる二地域居住者の方への、費用の支援も検討しています。

住民・事業者の皆さんに 3 っのお知らせ

1 空き家情報の募集



空き家をお持ちの方は、町が実施している「**空き家等バンク**」に登録してみませんか。「空き家等バンク」は、知識と資格を持った専門業者が、登録に必要な情報を無料で調査します。売買や賃貸契約の仲介も任せることができます。

▷川俣町空き家バンクページ QR コード



2 求人情報の募集



移住者の受入れは、事業者にとっても、様々なスキルを持った方を雇用するチャンスです。毎月、町が発行している

「川俣町内企業の求人」

等をご活用ください。

▷川俣町内企業の求人申込ページ QR コード



3 移住者との交流の場



移住者が本町に定住し、住民と移住者双方にとって心地よい関係を築くためには、お互いを知ることが重要です。（仮称）**「移住・定住相談支援センター」**が中心となり、移住者への継続した支援や住民と移住者が触れ合う場を創設します。

